

# 城山エコミュージアム通信

平成26年(2014)9.15 第21号



エコミュージアムとは、エコロジー(生態学)とミュージアム(博物館)の造語で、その地域そのものが、生きた貴重な資料であるという考え方の下に、地域の歴史や文化、自然について学び、地域への愛着を深め、交流を深めていく活動です。相模原市城山エコミュージアムは、地域住民主体の活動により資料収集・調査等を行い、資料を現地において保存し、展示し、広く活用することを目的として活動しています。



回転まぶし

## 養蚕



機織り機



繭



かいに  
いま、なぜ「蚕」か?

養蚕シリーズ  
連載開始

今年6月、群馬県の「富岡製糸場」がユネスコの「世界文化遺産」に登録されました。日本の「産業革命」を象徴しているからだそうです。しかし、現在の農業からは養蚕は姿を消しました。ところが、皇后陛下の美智子さまが宮中で「春蚕の掃き立て\*」をなさったことがまるで「歳時記」のように新聞に載ります。

養蚕は日本建国の頃大陸から渡来した歴史ある農業で、日本人の勤勉さや研究熱心さから独自の高い水準に達し、生糸の品質の高さでは、日本は世界のトップクラスでした。また、大陸で蚕が全滅するような病気が大流行しても、日本の蚕は海で守られ、フランスで全滅した蚕を救ったこともあったそうです。

ここ城山地区も古くから養蚕地帯でした。しかし、現在養蚕農家は皆無。このままではかつて当地で養蚕が農業の中心だったという歴史的事実すら消滅してしまうでしょう。

城山エコミュージアム運営委員会では、「かつて、この地域を特徴づける農業は養蚕だった」ことを発信してまいります。皆様の体験談、思い出、ご意見等をお寄せください。

(加藤 正彦)

\*掃き立て...卵から孵った蚕の幼虫を蚕座紙から移すこと



今回のトピック 養蚕シリーズ連載開始 城山探訪「城山まつり」  
城山検定「お月見の風習」 活動レポート ツアー開催のお知らせ等



川尻八幡宮の例大祭は、「かながわのまつり50選」に入っています。八幡宮には神輿が3基あり、今年の8月27日の神幸祭には大勢の若人が白丁<sup>はくちよう</sup>という白装束に身を包んで早朝6時半、花火と「オウ！」という掛け声とともに小雨の中御神輿渡御に入りました。昼間は応神、八坂と呼ばれる2基が、夜に春日と呼ばれる1基が加わり巡行、旧川尻村地域の各地区の山車もお囃子の音で盛りたて、22時の宮入りは、3基の神輿渡御の勇壮な見せ場となりました。28日夜には全山車がもみじホール城山前に勢ぞろいして競演。お囃子の勢いに雨も上がり、境内の夜店の賑わいも相まって夜遅くまで祭りを楽しむ人々であふれかえりました。（田畑 房枝）



28日お囃子競演のにぎわい

### 川尻八幡宮

祭神は応神天皇。創建は室町時代、大永5年5月5日（1525年）と伝わるが、社伝によれば舎人親王（四十代天武天皇の皇子）の子孫が奥州に降りる途中病に倒れ亡くなったため供のものがこの地に手厚く葬った。その時護持していた石清水八幡宮の御分霊を御神体として祠<sup>ほこ</sup>を建て祀ったのが創めとされる。昭和4年境内北側から神奈川県最北の古墳石室（7世紀前半の古墳）が発掘された。

所在地：相模原市緑区川尻 4171 参考（引用）：『川尻八幡宮パンフレット』

### 活動レポート



## お蚕の飼育に挑戦しました！

相模原市立博物館からお誘いを受け、養蚕研究の一環として40頭の蚕を預かり、城山エコミュージアムメンバー4人と公民館で6月1日から飼育に挑戦しました。2齢<sup>\*</sup>からたった23日間で繭になりました。1頭ずつ無事に繭を作ったことは良かったと思う反面、つまらなく寂しくも感じました。そして数匹ではありましたが蚕を飼って、その成長の速さと繭を作る時のエネルギーギッシュな動きに驚き、出来上がった真っ白な繭に生物としての潔さのようなものを感じました。（金子 直美）

### 飼育日誌より

飼育日	様子
6/1	2齢5頭。体長14mm。まだ小さく蚕らしくない。糞はケシの実より小さい。
6/2	脱皮して3齢になる。
6/5~7	次々と4齢になり、体長40mm。太ってきた。糞も大きくなった。
6/12	5頭全て5齢になった。猛烈な食欲。
6/19	1頭が食欲がなく頭を振っていたので蒨に乗せる。今まで食べるだけで動かなかったが、別の生き物になったかのように動き回る。深夜0時過ぎ繭を作り始める。
6/23	5個全ての繭が完成。
6/26	博物館へ繭を届ける。



繭作り中の蚕  
止まらずに糸を吐き続ける

出来た繭は、博物館で繭を使ったイベント等に使うそうです。

\*1齢...「眠」をとり脱皮する度に1齢～5齢と成長します。



# ホタル観察会

～ホタルの光に子ども達の瞳輝く～



## ホタルの生態や自然の大切さを学んで

6月21日城山公民館「しろやま里山探検隊」の依頼により、初めて城北地区を会場としてガイドを行いました。ホタルの学習を行った後、会場で観察。ホタルとカエルの鳴き声を観察できました。子ども達の知的好奇心を刺激するお手伝いのできたなら、ライブミュージアムたる「エコミュージアム」に関わった一人としてありがたいです。(佐々木 徹)

知ってナットク!  
しろやま



城	山
検	定

～お月見の風習～

## 問題

葉山島のある地域では十五夜の日、子どもたちが手に大きな袋をもって、家々を回ります。その時のかけ声は「 ちょうだいな。」さて、 に入る言葉は何でしょうか？

- 1.お団子 2.うさぎ 3.お月見

(出題者：齋藤 雄也)

# 城山湖周辺歴史・景観ハイキング

～ 大学生向けにしろやまの魅力を紹介～



## 龍籠山を背に里山紹介

8月19日大地連携\*ワークショップ「首都圏の里山里地をつなごう 今そして未来へ」に運営委員のメンバー(田中、樋口、森久保、齋藤)が地元講師として、参加しました。参加した大学生13名や大学関係者とともに、雄龍籠山周辺をハイキングしながら、天候に恵まれ、城山地域の里地里山の風景を肌で感じてもらいました。(齋藤 雄也)

\*大地連携...大学と地域のこと

# 自然ふしぎ発見

～ 夏休み！身近な場所で自然体験！～



## 川に入って生きものを探す子ども達

8月21日自然部会は城山公民館自然観察の講師として暑い夏の半日を使って城山公民館主催の観察会に参加しました。自然大好きな子どもたち12名と自然のふしぎを見つけに中央公園～小松～城山自然の家と歩き、それぞれの観察スポット、道筋で動植物の説明に耳を傾け、また、実際に実験や笹舟作り、川の生きものを採集したりと、自然の中で遊びながら楽しく学習することができました。(田畑 房枝)

# 城山検定

## 解説



正解は、  
3. お月見

十五夜の日、子どもたちが「お月見ちょうだい」と声をかけ、各家々で用意してあったお菓子をもらっていく風習があります。

しかし、葉山島のある地区では、子どもの減少などにより、昨年からしていません。次第に消えゆく風習となっています。(齋藤 雄也)



写真『城山町史4 民俗編』より

## INFORMATION

### 城山公民館ホームページ掲載開始!

城山公民館ホームページに、城山エコミュージアムコーナーができました。私達の活動や地域の様子を記した「しろやま歳時記」、「しろやま見どころ紹介」(城山エコミュージアムの旅ガイド資料から掲載)等随時更新しています。ぜひ一度ご覧ください。

**相模原市立城山公民館ホームページアドレス**

<http://www.sagamihara-kng.ed.jp/kouminkan/shiroyama-k/>



公民館イメージ  
キャラクター  
しろっぴー



### 今後の活動予定

#### 主催事業

10月25日(土)

城山エコミュージアムツアー  
テーマ:『激変する小倉橋周辺を歩く~過去から未来へ~』

#### 参加事業

11月2日(日)~3日(月)

城山地区市民文化祭出展(展示)  
会場:相模原市立城山公民館

#### 出前事業

9月10日(水)

東京家政学院大学学芸員課程  
ガイド協力

9月13日(土)

しろやま成人学級事業協力「昔の写真で語り合おう」

11月1日(土)

しろやま里山探検隊「秋の里山探検」ガイド協力

11月15日(土)

しろやま成人学級ガイド協力  
「城山エコミュージアムを歩く」から未来へ~」

#### 広報

城山エコミュージアム通信  
第22号(12月15日号)は、  
12月16日(火)頃発行予定

詳しくは、お問合せください。

テーマ

## 平成26年度城山エコミュージアムツアー 激変する小倉橋周辺を歩く ~過去から未来へ~

日時:10月25日(土)午前9時~午後4時

荒天時は、10月26日(日)に延期

内容:圏央道工事等で激変する小倉橋周辺をガイド説明付きで歩きます。距離は約8km。(一部山道を含む)

会場:久保沢~小倉地区周辺

集合場所、城山総合事務所ピロティ

定員:40名(先着順)

対象:小学生以上(小学生以下は保護者同伴)

参加費:500円(資料代等として・当日集金します)

申込先:城山公民館 電話(042-783-8194)または、直接

申込期間:平成26年9月17日(水)~10月15日(水)まで



### 編集後記

養蚕シリーズが本格的に開始されました。知れば知るほどこの城山地区は養蚕のつながりが深いことが分かってきました。今後も続けてご紹介していきたいと思えます。他にも「城山夏まつり」や活動レポートなどが盛りだくさんで、好評いただいている「地域紹介」を休ませていただきました。次号以降にご期待ください。(山口 雅之)

企画/作成:相模原市城山エコミュージアム運営委員会

発行:相模原市立城山公民館

TEL:042-783-8194【直通】

FAX:042-783-1721

ホームページをパソコンで見るとは

相模原市 城山エコミュージアム

相模原市立城山公民館ホームページ

<http://www.sagamihara-kng.ed.jp/kouminkan/shiroyama-k/index.html>



検索